ハタハタの生態 ～沿岸浅海域の利用状況～

国立研究開発法人　水産研究・教育機構
日本海区水産研究所　藤原邦浩

日本海の代表種
重要底魚資源

学名：*Arctoscopus japonicus*
English: Sailfin sandfish
Japanese: ハタハタ

真冬　秋田男鹿半島

写真提供：秋田県水産振興センター甲本亮太博士

秋田県定置網船の水揚げ

ハタハタの生息域と産卵場

秋田県男鹿半島の産卵場

ホンダワラ類（アカモク・スギモクなど）の茎に産みつけられたハタハタの卵塊

韓国江陵（カンヌン）の漁港市場にて風景

日本海には
二大産卵場由来２系群存在
日本海西部は両群混在

ハタハタの生活史および生活年周期（模式図）

ハタハタは季節的に浅深移動する。

日本海北部のハタハタ漁　メインは冬

秋田男鹿半島

ハタハタ定置網漁
水深数mに
網を設置して獲る

佐渡周辺

小型底びき網

ハタハタ定置網

日本海西部のハタハタ漁　春4月～秋9月

底びき網漁
水深200～500mに
網を沈めて獲る

日本海におけるハタハタの漁獲量の推移

水産庁HP 平成19年度ハタハタ日本海西部系群の資源評価
http://abchan.fra.go.jp/digests2018/details/201849.pdf

図4.　日本海3海域におけるハタハタの漁獲量（1955～2017年）
日本海西：島根県～石川県、日本海北：富山県～青森県、
韓国：韓国国内全域（主な漁場は朝鮮半島東岸）。

2018年暫定値：日本海西部2,860トン　日本海北部1,519トン

水産庁HP令和元年資源評価ダイジェスト版 http://abchan.fra.go.jp/digests2019/index.html

＊漁船隻数が大幅に減少しており、漁獲量では、中長期資源変動を判断しづらい。

ハタハタの日本海西部系群と日本海北部系群の資源量指標値の推移

水産庁HP 令和元年資源評価ダイジェスト版 http://abchan.fra.go.jp/digests2019/index.html

日本海西部（石川～島根）**高位**（漁獲情報に基づく）・**減少**（調査船調査に基づく）

長期的には緩やかに変動
しかし
数年内の大きな変動を伴う

日本海北部（青森～富山）**中位・増加**（漁獲情報に基づく）

夏に資源調査を実施

水産庁委託 我が国水産資源調査・評価委託事業

水産研究・教育機構用船　但州丸(358t)(兵庫県立香住高校実習船)

日本海ズワイガニ等底魚資源調査
石川県～島根県沖合
水深190～550m
着底トロール
調査点およそ140点
2002年～実施

水産研究・教育機構水産大学校　天鷹丸(995t)

日本海北部底魚資源調査
秋田県～新潟県沖合
水深100～500m
大型桁網
調査点およそ50点
2016年～実施

年齢と成長（体長・体重）

水産庁HP令和元年資源評価ダイジェスト版 ハタハタ日本海北部系群
http://abchan.fra.go.jp/digests2019/html/2019_53.html

寿命は5年　漁獲主体は2～4歳

ハタハタの分布回遊（模式図）

- 韓国や北部から0歳秋～冬に移出
- 雄は1or2歳で、メスは2歳で産卵場へ回帰する.

ハタハタの資源生態と研究進捗

これまでの知見

・日本海全域の水深200～500mに生息
・大産卵場は秋田沿岸と朝鮮東岸（2つの系群が存在する）
・日本海北部系群は、秋田周辺で生まれ南下、成長に伴い北上して産卵
・寿命は5年（2～4歳が漁獲主体）
・秋田沿岸にいるのは、親：産卵期12月、子：1～5月

研究途中の項目

・日本海中層域における産卵回遊・稚魚の南下など、不明点を多い
水温・潮流（海況）と分布回遊との関係について調査中

・資源変動は中長期的には緩やか、ただし数年の動向は激しく変化する
飼育実験等にて、水温は稚魚期の成長・生残に影響するか調査中

秋田県周辺におけるハタハタの鉛直的分布の模式図

（提供：秋田県水産振興センター甲本亮太博士）

「 産卵場に続く、勾配の緩やかな砂浜域 」

→ 水深100m以浅は **仔魚の保育場として重要**

関連文献：

南 卓志・田中 実（1985）アカヒゲ漁で漁獲されたハタハタ稚魚．日水研報告，35，1-10.

甲本亮太・工藤裕紀・高津哲也（2011）秋田県沿岸におけるハタハタ仔稚魚の水深別分布と食性．水産増殖， 59，615-630

ハタハタの沿岸浅海域の利用状況

分かっていること
・秋田沿岸にいるのは、親：産卵期12月、仔魚・稚魚期：1～5月

断片的な知見
＊産卵期の沿岸水温は、14℃以下
＊稚魚は、13.2℃以上には分布していない

→　浅海域の鉛直水温は分布水深を左右する可能性がある。

（参考）
・振動などに比較的敏感な可能性がある？

・・・まだ分かっていないことも多い